

Title	アイデアをかたちにするベンチャーキャピタリスト - その役割と成功の条件を探る -
Sub Title	
Author	小坂則子(Kosaka, Noriko) 奥村昭博
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1996
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1996年度経営学 第1260号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001996-1260">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001996-1260</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

小坂 則子

主査 奥村 昭博

副査 矢作 恒雄

千本 倅生

所属

奥村 昭博 研究室

## アイデアをかたちにするベンチャーキャピタリスト —その役割と成功の条件を探る—

日本では創業にあたって様々な困難があると言われている。日米の改廃業率を比較してみても、その差は歴然としている。では、米国では創業における様々な問題をどのように克服しているのだろうか。そこには、ベンチャーキャピタリストの存在が重要な役割を果たしていると考えた。単に資金のみを投資するのではなく、ベンチャー企業の経営に深く関わっていくベンチャーキャピタリストとはどのような人なのだろうか。そして彼等が成功する条件とは何なのだろうか。この論文ではベンチャーキャピタル業界という制度面からではなく、あくまでもベンチャーキャピタリストという個人に焦点をあてて研究を進めた。

日本ではベンチャーキャピタルという産業自体が未成熟であり、結果としてベンチャー企業を成功に導いた経験のある人も非常に少ない。よって研究方法は、主に米国でのアンケート調査とインタビュー調査を中心に行った。

調査の結果、ベンチャーキャピタリストはアイデアをかたちにし、世に送り出していくことに非常なるやり甲斐を感じていることが判明した。さらに発掘・審査・ストラテジの策定と势力的に仕事をこなす彼等は、自身の学歴・職歴から裏付けられた誇りと自信に支えられていることもわかった。

これらの調査結果から、ベンチャーキャピタリストの役割と成功するベンチャーキャピタリスト像を明確にした。そして最後に、今後日本でもベンチャー企業成長の担い手となるようなベンチャーキャピタリストが生まれていくためにはどうしたらよいかを提言している。